

# 平成24年度事業計画書

自) 平成24年 4月 1日

至) 平成25年 3月31日

## 1. 一般活動方針

当研究所の活動の基盤をなす受託事業は、公共事業予算の縮減や競争形式の発注方式（プロポーザル方式等）への移行などにより、厳しい受注環境に置かれている。このような状況下であるが、長年の調査研究活動によって当研究所に蓄積されたノウハウを活かした事業実施の効率化・高度化、さらに、職員の企画提案力の向上を図ることにより、こうした環境においても、これまでと同様、積極的に受託事業を推進していく方針である。

一方、今年度からの一般社団法人移行に伴い、公益性の高い非営利の一般法人としての当社団の存在価値をより高めていくことが重要と考えられる。そこで、受託事業以外の事業（公益事業）についても、昨年度までと同様に積極的に取り組んでいくものとする。

第一に、調査研究・技術開発事業については、職員が主体となり大学等との連携を図るなどして取り組む自主研究を積極的に進め、当研究所の価値向上を目指すものとする。

第二に、米谷・佐佐木基金を活用した調査研究助成事業については、交通システム分野における優れた研究活動等を奨励するための米谷・佐佐木賞の授与を継続することを通じて、科学技術の発展への寄与を目指すものとする。

第三に、調査研究情報発信事業については、例年同様、情報化月間行事としてのシンポジウムの開催を中心に取り組むものとする。

## 2. 事業方針

上記の一般活動方針を踏まえ、今年度における各事業の方針を以下の通りに設定する。

### (1) 調査、研究、開発の受託事業

- ・競争形式の発注に対しては企画提案能力の強化、公共事業の縮小に対しては国以外の受託先（自治体・高速道路会社等）の確保・拡大に努める。
- ・さらに、下記(2)(4)の事業の成果を踏まえるなどして、時代を先取りした調査研究テーマの企画・提案を行うことにより、新たな受託先の開拓を図る。
- ・以上の取り組みを通じて、今年度の事業収入の確保、さらに、次年度以降の事業の活性化を目指すものとする。

### (2) 調査研究・技術開発事業

- ・職員が主体となって取り組む自主研究を一層推進する。特に、学会発表等を通じて積極的にその成果を外部に発信することを奨め、提案力を始めとする職員の調査研究能力向上、さらには当研究所の価値向上を図る。

- ・また、自主研究の水準向上、職員の研究能力のさらなる向上を図るため、大学を始めとする外部研究機関との共同研究の機会の創出も図る。
- ・総合研究開発機構(NIRA)及び一般財団法人 関西情報センターの指導のもとに「地域分散型シンクタンクネットワーク」の活動に参画する。

### (3) 調査研究助成事業

- ・わが国の交通システム分野における研究・実務の発展及び活性化に寄与することをねらいとして、当該分野で優れた成果を上げた研究者や実務者を表彰し、奨学金を授与して活動を支援する米谷・佐佐木賞を継続して行う。

### (4) 調査研究情報発信事業

- ・当研究所に係る社会、経済、行政、研究・技術等の分野の最新情報を外部に発信するため、情報化や地域づくりに関する最新の動向に関するテーマを設定し、情報化月間行事としてシンポジウム等を開催する。
- ・京都高度情報化推進協議会等への参画を通じ、地域情報化推進に貢献する。